

令和3年産 美里地区の稲作情報

宮城県美里農業改良普及センター

第6号 令和3年7月12日発行

TEL:0229-32-3115 FAX:0229-32-2225

http://www.pref.miyagi.jp/site/misato-index/



1. 気象経過

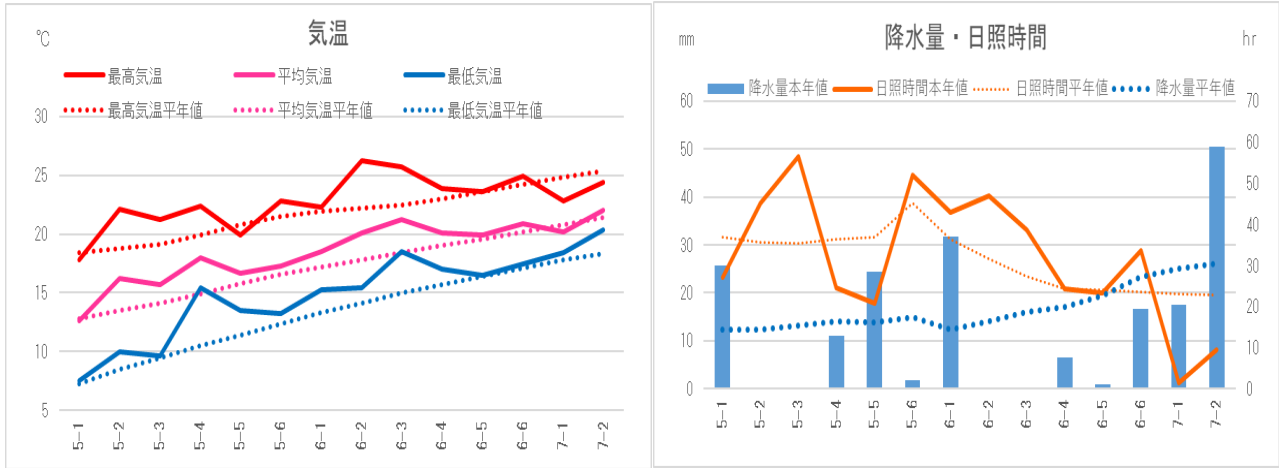


図1 田植後の半旬別気象経過（鹿島台アメダス）

表1 半旬別の気象経過（鹿島台アメダス）

期間	平均気温		最高気温		最低気温		降水量合計		日照時間合計	
	本年値	平年差	本年値	平年差	本年値	平年差	本年値	平年比	本年値	平年比
	(°C)	(°C)	(°C)	(°C)	(°C)	(°C)	(mm)	(%)	(時間)	(%)
6月第5半旬	19.9	-0.9	23.6	-1.2	16.5	-1.3	10.0	34%	19.9	101%
6月第6半旬	20.9	-0.5	24.9	-0.5	17.5	-0.8	19.5	64%	28.8	148%
7月第1半旬	20.2	-0.6	22.8	-2.0	18.4	0.6	20.5	70%	1.2	6%
7月第2半旬	22.0	0.6	24.4	-1.0	20.4	2.1	59.0	194%	8.1	42%

<7月第1・第2>

気温：最高は低く、最低は高い

日照時間：少ない

降水量：第2半旬は多い

2. 管内生育調査ほの生育概況

5月中旬までに移植したほ場では、幼穂形成期（幼穂長1mm）に入っています。中干しを終了しましょう。

表2 7月9日調査結果

調査地点	品種	区分	田植日	栽植密度 (株/m ²)	7月1日調査結果				7月9日調査結果				幼穂長 (mm)	
					草丈 (cm)	茎数 (本/m ²)	葉数 (枚)	葉色 (SPAD値)	草丈 (cm)	茎数 (本/m ²)	葉数 (枚)	葉色 (SPAD値)		
移植	涌谷 (小塚)	ひとめぼれ	本年値	5月9日	18.6	53.0	512	10.0	42.2	58.9	471	10.8	42.5	3.7
			前年比・差	-	-	108%	92%	0.0	98%	97%	80%	0.0	106%	1.6
	田尻 (桜田高野)	ひとめぼれ	本年値	5月8日	16.1	53.0	575	9.4	45.3	61.1	515	10.1	44.0	5.0
			前年比・差	1日早い	1441%	105%	114%	-1.2	103%	97%	112%	-1.6	98%	4.3
	鹿島台 (木間塚)	ササニシキ	本年値	5月11日	14.2	50.3	510	10.0	38.3	60.1	490	10.8	38.1	1.7
			前年比・差	前年と同じ	1649%	94%	91%	0.2	92%	91%	86%	0.2	95%	0.9
鹿島台 (木間塚)	だて正夢	本年値	5月21日	16.4	49.1	392	9.5	45.3	63.3	420	10.7	48.0	0.3	
		前年比・差	2日早い	1711%	96%	98%	0.0	92%	91%	96%	0.3	99%	0.0	
南郷 (和多田沼)	金のいぶき	本年値	5月4日	16.5	57.3	564	11.0	38.1	64.1	540	11.8	36.8	0.9	
		前年比・差	1日遅い	1406%	105%	119%	-0.5	88%	94%	117%	-0.5	92%	0.0	
直播	小牛田 (荻塚)	ゆみあずさ(湛水点播(鉄))	本年値	5月6日	16.7	51.0	603	9.2	41.6	65.2	593	10.1	40.8	

※平年値は過去5年間の平均値。過去平均は5年未満の平均値。

3. 今後の栽培管理

出穂期 8月2日頃の予測（平年値：8月3日）

(1) 生育ステージ

表3 生育ステージの予測値（7月12日現在）

移植日	幼穂形成期	減数分裂期	出穂期
5月1日	6/28~7/2	7/8~7/12	7/28~8/1
5月5日	7/1~7/5	7/11~7/15	7/31~8/3
5月10日	7/3~7/7	7/13~7/17	8/2~8/4
5月15日	7/7~7/11	7/17~7/21	8/4~8/8
5月20日	7/10~7/14	7/20~7/24	8/7~8/10

(参考) 幼穂長と出穂前日数

《幼穂長と稲の生育》

幼穂長 (mm)	生育ステージ	外形	出穂前日数
1	幼穂形成期	止葉抽出	25
2			20
8~15			18
30	減数分裂期		15
80			12
120			10
195		穂ばらみ始め	6
205			4
220			2~1
220		出穂	0

※主稈葉齢予測モデル（普及に移す技術第80号）を用いた予測値。移植時葉齢を2.5葉~3.5葉として予測。
平均気温を7月11日までは鹿島台アメダスの実測値、7月12日以降は平年値として生育ステージを予測した。

(2) 水管理

出穂前後は稲が水を必要とする時期です。出穂前までは間断かん水を基本とします。

☞ 幼穂形成期から減数分裂期にかけて日平均気温 20℃以下、または日最低気温 17℃以下が続く場合は、できる限りの深水管理を行いましょ。

※仙台管区气象台の2週間気温予報(7月9日更新)では、この期間の低温の予報はありませんが、今後も最新の予報に注意してください。

日付	1週目の予報(日別)							2週目の予報(5日間平均)				
	10 土	11 日	12 月	13 火	14 水	15 木	16 金	17 土 (15~19日)	18 日 (16~20日)	19 月 (17~21日)	20 火 (18~22日)	21 水 (19~23日)
仙台 (最高気温)	25	27	28	27	27	28	29	28	28	28	28	28
仙台 (最低気温)	20	21	22	21	22	22	22	21	21	21	21	21

色付きの箇所は、平年に比べ、気温が高いことを示す

(3) 追肥

穂揃期の葉色を維持するため、標準的な追肥を行いましょ。

表4 幼穂形成期および減数分裂期の生育量の目安と追肥量

品種	幼穂形成期(幼穂長1~2mm)				減数分裂期(幼穂長3~12cm)			
	草丈 (cm)	茎数 (本/m ²)	葉色 (SPAD値)	追肥量(標準) (窒素成分) (kg/10a)	草丈 (cm)	茎数 (本/m ²)	葉色 (SPAD値)	追肥量(窒素成分) (kg/10a)
ひとめぼれ	56~59	470~530	37~39	1.0	66~69	450~500	35~37	1.0
まなむすめ	65~70	580~600	35~37	2.0	-	500~550	36~38	-
ササニシキ	62~68	720~760	34~36	-	-	550~580	32~34	1.0~1.5
つや姫	70~75	550~580	35~37	2.0	-	-	-	-
だて正夢	64~70	390~460	40~42	-	76~82	380~420	37~39	2.0
金のいぶき	65~70	570~620	33~35	1.0	80~85	490~540	30~32	1.0

表5 穂肥窒素の施用時期と影響

	穂数の増加	1穂穎花数の増加	1穂穎花数の減少防止	登熟の良化
幼穂形成期	○	◎	○	
減数分裂期		○	◎	◎

(4) 病害虫防除 (発生量等の情報は、県病害虫防除所発生予察情報注意報第1号(7/9発行)より)

1) いもち病 発生時期：早い(全般発生期7月第2半旬)、発生量：やや多

平年より発生が早いことから、県病害虫防除所は7月9日に注意報第1号を発表しました。

7月12日現在、管内でも感染好適条件出現日が発生しており、葉いもちに感染しやすい状況が続いています(BLASTAMによる推定)。

※感染好適条件：葉いもちの大量感染に好適な気象条件(葉面湿潤時間10時間以上、平均気温15~25℃、前5日間の平均気温20~25℃)が出現した日。

7月15日頃までは、いもち病の感染に好適な日が続く見通しですので、こまめにほ場を観察し、病斑を発見したら直ちに防除を行いましょう。



進行型病斑

停滞型病斑

褐点型病斑

2) 斑点米カメムシ類 発生時期：やや早い(第1世代成虫発生盛期 7月第3半旬、平年7月第5半旬)

発生量：平年並

【発生源の管理】

水田周辺の牧草地等の草刈りは7月中旬となっていますので、直ちに実施しましょう。

【水田の管理】

水田畦畔の草刈りは水稻の出穂10日前までに行いましょう。

【水田の薬剤防除】

- ① 基本の防除体系：1回目は穂揃期、2回目は穂揃期の7~10日後に実施しましょう。
- ② イヌホタルイ発生水田の場合：1回目の防除時期を早めましょう。1回目は出穂始~穂揃期に、2回目は穂揃期の7~10日後に実施しましょう。



アカスジカスミカメの成虫

3) コバネイナゴ 発生時期：やや早い(侵入盛期 7月第2半旬)、発生量：やや多

県病害虫防除所の巡回調査結果では、発生量は過去5年の平均よりやや少ないものの、平年より虫齢の進んだ幼虫が増加していたこと、前年の発生が平年より多かったことなどから発生時期はやや早く、量もやや多いと予想されています。

発生が多く見られる水田では速やかに防除を実施しましょう。防除は、3齢(1.5cm程度)までに行ってください。

※山形県と秋田県では、要防除水準を100頭以上(20回振りすくい取り調査)としています。

農薬危害防止運動実施中(6月1日~8月31日)